

鶴中野球部4人が東北大会へ出場

中学生強化事業（野球競技）において、北五選抜チームに選出された鶴田中学校の生徒4人と對馬教諭が、3月16日（土）、17日（日）に宮城県仙台市で行われた「楽天イーグルス杯第17回東北中学校選抜野球大会」に出場し、2月14日（木）、相川町長を表敬訪問しました。

相川町長は、「精一杯頑張って、大会で経験したことを鶴中野球部にも還元してほしい」と期待を込めて話しました。

出場する選手は、「チームのためにできることをして、全力のプレーで東北で一番になれるよう頑張ります」と抱負を述べました。

大会は、1回戦で惜しくも仙台市選抜チームに敗れましたが、選手はより質の高いプレーを経験することができました。



△表敬訪問で選手はそれぞれの意気込みを話していました



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

子どもたちが町議会の様子を見学

社会科で国会などについて学んだ胡桃館小学校の6年生9人が、身近な議会である町議会を見学して理解を深めようと、3月11日（月）、町議会3月議会定例会の一般質問の様子を見学しました。

相川町長は子どもたちに議会の役割や役場との関係を説明し「自ら議会を見学ということは素晴らしいことだと思う。役割は違っても、議員も役場も町民の幸せのために仕事をしている」と話していました。

議会を見学した松山煌くんは「議会での話は難しかったけど、相川町長が言ってたように、みんな町民の幸せのために仕事をしているのが分かりました」と感想を話していました。



△真剣な表情で町議会を見学する胡桃館小学校の子どもたち

スキー、水泳の全国大会へ出場

3月24日(日)～26日(火)に安比高原スキー場(岩手県八幡平市)で開催される全国小学生アルペンスキー大会、26日(火)～27日(水)に東京辰巳国際水泳場で開催される全国JOCジュニアオリンピックに出場する選手7人(スキー6人、水泳1人)が、3月19日(火)、相川町長を表敬訪問しました。

相川町長は、「優勝するという気持ちを持って、気持ちで負けないようにして臨んでほしい。町民も期待してると思う」と激励しました。選手は「練習した成果を発揮して上位を目指したいです。ケガで出場できなくなった仲間の分も頑張ります」と意気込みを話していました。



△スキー、水泳(写真手前右)競技で全国大会に出場する選手



△中村校長から卒業証書を受け取る卒業生

管内6小学校で卒業式

3月20日(水)、21日(木)、管内6小学校で卒業式が行われ、99人の子どもたちが卒業しました。鶴田小学校では、卒業生56人が在校生や保護者、先生に見守られながら思い出の詰まった学びやを巣立ちました。

式では、卒業生たちが春から通う中学校の制服に身を包んで出席。中村隆人校長は「中学校に行っても、小学校6年間での学びを忘れず、力強く歩き続けて欲しい」と式辞を述べました。

在校生たちは、「何事にも全力で取り組み、全校を引っ張ってくれてありがとう」と卒業生にこれまでの感謝を伝え、元気な合唱と大きな拍手で卒業生を送り出しました。

姉妹都市交流の思い出を心に刻む

3月14日(木)から23日(土)までの日程で、姉妹都市・米国オレゴン州フッドリバー市を訪問した鶴田中学校の2年生22人が帰国しました。

同月23日(土)には、町国際交流会館で解団式が行われ、生徒を代表して川村羽美さんが「異文化に触れ、たくさんの人と交流することができました。私たちを助けてくれたたくさんの人たちに感謝しています」と訪問の感想を述べました。

今回訪問団長を務めた成田副町長は「フッドリバーの皆さんは、1日1日思いやりのあるおもてなしをしてくれて、本当にありがたかった。子どもたちも親善訪問団としての大役を果たしてくれたと思う」と話していました。



△フッドリバー市を訪問した感想を報告する生徒たち